



西中学校だより 1月号

点滴穿石

羽生市立西中学校長 角屋 房男

「あけまして おめでとうございます。」平成28年の元旦を迎え、申年となりました。

恒例行事となった私の初詣は、大晦日午後11時40分頃に家を出て、お寺で除夜の鐘をつき、願をかけ、新たな年を迎えることです。皆さんは、どのような新年を迎えたでしょうか。きっと新たな希望をもって1年の初めを迎えたことと思います。

申というと、日光東照宮の三猿（見猿、言わ猿、聞か猿）を思い浮かべます。神厩（しんきゅう）という国の重要文化財に指定されている建物があります。その建物の長押（なげし）の上に、8面の彫刻があり、それぞれの面に猿が彫刻されています。その内のひとつに、子ども猿の彫刻があり、それが三猿です。その8面には物語があります。手をかざして子猿の将来を見守っている母猿、成長途中の三つの猿、独り立ちする猿、大きな志を立てて天を仰ぐ猿、思い悩む友を励ます猿、物思いにふけている猿、大きな荒波を乗り越えていこうとする二匹の猿、そして妊娠し大きなお腹を抱える猿の彫刻は、まさに、母猿が子育てをし、成長を願っていく様子が彫られています。

家族や多くの方に見守られているお子さんは、成長途中であり、大きな志を立てて、天を仰ぐ時が必ずやってきます。今年1年、大きな成長を遂げることを願っています。

中国の後漢の時代に編纂された前漢の歴史書である、「漢書（かんじょ）」に、「点滴穿石（てんてきせんせき）」「点滴、石を穿つ（うがつ）」という言葉があります。水滴も同じ位置に落ち続ければ、いずれ石に穴をあけることができるという意味です。どんなに小さな力でも根気よく続ければ、大きなことを成し遂げることができることのたとえです。成長過程のお子さんが、毎日少しずつでも根気よく続ければ、それは大きな力となり、成長へとつながっていきます。

第3学期は、1年間の締めくくりの時期でもあり、大きな成長を表す学期です。1年生は、スキー学校が行われ、2年生は、校外学習が行われます。もち備えている自分自身の力をすべて発揮し、学級の力を結集して、取り組んでほしいと思います。そして、スキー学校や校外学習を通して学んだことを自分自身の生活に生かすことを願っています。

そして、3年生は、すでに高校受験が始まりましたが、いよいよ自分の進路を決定する時期となりました。進路実現に向けて頑張ることを願っています。

点滴、石を穿つ。「点滴穿石」です。

西中生の活躍 12月の学校行事

12月11日（金）2年生が市内の高校の先生の指導のもと合同出前授業を実施しました。10日（木）には、羽生市小中学校レベル・ソリューション・コンクールがあり、西中学校が最優秀賞を受賞しました。16日（水）には3年生が立志式を行い、一人一人が自分の将来について発表しました。

羽生市レベル・ソリューション・コンクール



出前授業 手話



1年大道遺跡学習



出前授業 看護



3年立志式



出前授業 メンテナンス



1月の行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金	元旦 冬季休業日	17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	全校朝会
4	月	補充学習	20	水	
5	火	補充学習	21	木	第3回学校保健委員会 家庭読書の日
6	水	補充学習	22	金	
7	木	始業式 B週開始	23	土	
8	金	給食開始	24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	
11	月	成人の日	27	水	1年スキー学校
12	火	PTA 交通指導日（朝練なし）避難訓練	28	木	1年スキー学校
13	水	引き落とし日 給食センター職員訪問 3年消費者教室	29	金	1年スキー学校 2年校外学習
14	木	生徒会専門委員会	30	土	
15	金		31	日	
16	土				